

緑光

藤沢市の企業等が環境緑化を
推進するための活動を紹介しています

会員
募集中

私たちと一緒に
“緑あふれるまちづくり”
活動に
参加しませんか？

活動内容の紹介
公園紹介

No.76

2022年3月

会長より ごあいさつ



藤沢市企業等環境緑化推進協議会
会長 泉谷 忠幸
オイレス工業株式会社藤沢事業場

新暖の候、会員事業場の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。また、当協議会の令和3年度事業活動においては、皆様のご協力により無事終了出来ました事を、この紙面をお借りして御礼申し上げます。

この1年を振り返りますと新型コロナウイルスに終始した年となり、当協議会も例外ではなく大幅に活動を制限されることになりました。その中で、WEB形式ではありますが「緑化技術講習会」を開催できたこと、視聴者数が例年と比較し大幅に増えたことは今後の活動に大いに参考になったと感じております。ご尽力いただきました事務局に感謝申し上げます。

7月には東京オリンピックが開催され、セーリング競技が藤沢市で行われました。さまざまなご意見があると思いますが、各競技の選手達の頑張りにはコロナ禍で暗く落ち込んだ日本に明るい話題を与えてくれました。改めてスポーツの力を感じたところで、メジャーではエンゼルスの大谷選手が、打って・投げて・走っての大活躍、イチロー、松井秀樹、ダルビッシュを合わせてもおつりがくるほどの活躍で毎日楽しませていただきました。

世界的な気候変動問題において、2050年カーボンニュートラルの実現は企業の社会的責任となっておりますが、排出量を削減するには限界があり、植物の光合成による吸収も必要不可欠です。

藤沢市の環境緑化事業において、当協議会の役割を果たすべく、協議会運営を継続していきたいと考えますので、今後とも皆様方のご支援とご協力をお願いいたします。

第48回 総会

藤沢市企業等環境緑化推進協議会の第48回総会は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、会議形式(人数制限あり)と書面形式を併用し開催いたしました。

令和2年度の事業報告、決算報告及び監査報告が承認され、令和3年度役員の改選、事業計画及び収支予算が承認され、無事に審議を終えました。(事務局 記)

緑化技術講習会

日時 2021年10月11日(月) 14:00~15:00 Web会議 参加数 17社25人

講習名 「藤沢市生物多様性地域戦略」に基づく「藤沢市生物多様性実行プラン」について
「藤沢市工場立地に関する準則を定める条例」の制定に伴う、新たに定めた緑化基準について

解説担当者 藤沢市役所 みどり保全課 坂口様、三好様



今年の緑化技術講習会は、藤沢市役所みどり保全課のご担当者から、藤沢市が取り組んでおります「藤沢市生物多様性地域戦略」と、2021年10月から一部改正された「藤沢市工場立地に関する準則を定める条例」について、環境保全における現状および改正部分に関する説明を行っていただきました。また、コロナ感染3密対策としてWeb会議での開催となりました。

最初に、藤沢市で取り組んでおります「藤沢市生物多様性地域戦略」に関しての説明があり、続いて「藤沢市工場立地に関する準則を定める条例」の制定に伴う、新たに定めた緑化基準に関しての解説を行っていただきました。

緑化基準に関しては、緑の質が高い緑化手法、敷地内緑化【樹林地の創出】【緑地空間の創出】【水辺空間の創出】【休憩施設の設置】をした際の緑化面積の算定事例、また、CSR活動を実施した場合の所有する敷地内緑地面積の算定などを解説していただきました。今回の制定に伴う緑化基準で各企業の現行緑地面積に対して、緩和される方向となります。

今後、藤沢市内企業での新たな設備投資や新規企業の誘致を行うにあたり、所有敷地面積に対する緑地率の緩和を可能とする制度と共に、利用者の憩いの場を形成されることで質の高い緑化の整備と地域経済の活性化との調和がとれたサステナブルなまちづくりを目指していきますので、今後とも皆様方のご支援とご協力をよろしくお願いいたします。(アズビル株式会社 藤沢テクノセンター 中野 記)

湘南グリーンコネクション2021



令和3年12月21日(火)二宮町生涯学習センターにて「湘南グリーンコネクション2021」が開催されました。講演内容は「とまらないナラ枯れ里山はようになる」(講師:芦垣明彦氏)

神奈川の自然を次の世代に引き継ぐためにはどうすれば良いのか?県内において、2017年に初めてナラ枯れの被害が箱根町湯本や三浦市小網代等で確認され、以降、被害は拡大の一途をたどっているそうです。コナラ等のナラ類やマテバシイ等のシイ・カシ類がカシノナガキクイムシに穿入されると、カシノナガキクイムシが媒介するナラ菌の作用により、水分などを吸い上げる機能を失い、急速に葉の色が赤褐色に変色し枯死に至

る場合もあるとのこと。昔、樹木は燃料として大変貴重でしたので枯れたら即伐採し被害の伝搬は少なかったようですが、昨今、里山の需要は少なくナラ枯れ大木が放置されているため伝搬してしまうとのことでした。伐採と伐採した樹木の処理は大変なため有効な対策は少ないとのことでしたが、地球規模で考え解決を諦めてはいけないとの締めくくり、現在猛威を振っている「新型コロナウイルス感染症」に似ているなど感じ興味深く視聴させていただきました。(オイレス工業株式会社藤沢事業場 泉谷 記)

第40回 緑と花いっぱい推進の集い

令和3年11月13日(土)

藤沢の緑を守り育て、市民による「緑と花いっぱい運動」をさらに推進していくことを目的とし、「藤沢市みどりいっぱい市民の会」「藤沢市」「当協議会」の3者共催で開催しており、今年で40回目を迎えました。

新型コロナウイルス感染症の影響により規模は縮小されましたが、今年は「藤沢公民館・労働会館等複合施設 Fプレイス」で開催することができました。緑と花いっぱい功労者および各種コンクール(標語、緑と花のまちづくり、学校花だん、ポスター)において最優秀賞を受賞された方々にご来場いただき、各作品の発表および表彰を行いました。各受賞者へのインタビューの中で作品への想いやこだわりを伺い、厳粛な中にも和やかな雰囲気となりました。

来年度も引き続き、会員の皆様のご協力をお願いいたします。

(株式会社ヤクルト本社湘南化粧品工場 大林 記)



会員紹介

事業所名 ● 東京ラヂエーター製造株式会社 本社・藤沢工場
所在地 ● 藤沢市遠藤2002番地1
代表者 ● 代表取締役社長 落合久男
事業内容 ● 輸送用機械器具製造

東京ラヂエーター製造株式会社は、1938年に設立され、トラック及び産業・建設機械用ラヂエーター、EGRクーラー、オイルクーラー等の熱交換器及び燃料タンク、オイルパン等の車体製品の開発、製造、販売を行っております。

1965年に開業した藤沢工場と海外4拠点で生産した製品を世界中のお客様にお届けしています。

藤沢工場では開業以来今日に至るまで敷地内の緑化に取り組んでおり、構内には梅や樹齢約50年の桜、つつじなどが四季折々に花を咲かせ、近隣住民の方々にも楽しんでいただいております。

また、環境基本方針に「企業活動の全段階において一人ひとりが環境保護に努め、持続可能な社会の実現に貢献する」を掲げ、生物多様性の保全と創出の取り組みとして「ピオトープの設置による水辺の生態系創出」、「カブトムシの繁殖環境保全」という二つのテーマを定めてSDGs(持続可能な開発目標)にもつながる活動を進めております。

ピオトープづくりに関しては、「藤沢市生物多様性地域戦略」の趣旨に基づき藤沢市都市整備部みどり保全課の方々のご協力のもと、市が管理するピオトープの見学やアドバイスをいただきながら、2019年に二つのピオトープを造設しました。現在ではギンヤンマやシオカラトンボなどの繁殖を確認できるまでになっています。

カブトムシについては、夏の夜間に工場に飛来する成虫が社内の自然の中で繁殖できる環境づくりを目標に環境整備(産卵床の設置)を行い、2021年には自然繁殖した成虫約50匹を遠藤市民センターのご協力を得て地域環境の将来を担う子供たちに届けることが出来ました。

これからも生物多様性保全と創造の活動により、地域の自然と生態系を次の世代へつなげる活動を続けてまいります。



公園の紹介



神武寺
(じんむじ)

所在地:

逗子市沼間
2-1402

アクセス:

JR東逗子駅から
徒歩20分

三浦半島の付け根、逗子の海拔80m程の場所に濃い緑に囲まれた神武寺があります。山域全体が鎮守の森となり、県内では数少なくなった照葉樹林が残されています。

神武寺は鎌倉時代には源氏の信仰も厚く、奈良時代から続くといわれる山岳信仰の霊場です。東逗子駅から近く、住宅地の一角から森に分け入るように緩やかな坂道を進むと山門を抜け、切通しを抜けて静かな客殿に至ります。近くには鐘楼と薬師堂が建ちます。

薬師堂の傍らには「なんじゃもんじゃの木」が1本。「なんじゃもんじゃの木」とは、特定の種をさす名前ではなく、その地域では珍しい変わった木につけられたもので、日本全国に様々な種類の「なんじゃもんじゃの木」が存在します。神武寺の木は「ホルトノキ」が正体です。

参道や客殿入口は凝灰岩を削った切通しになっており、その壁面にはミツデウラボシ、オリヅルシダ、ヒトツバなどのシダ類や美しい紫色の花をつけるケイワタバコが、壁の湿り具合や日当たり具合に応じて生育しています。人の営みが自然の営みの場となったかのようです。

神武寺をゆるりと散策すると、人の歴史と自然の歴史が交錯する場を感じます。

藤沢市自然生態専門員 原田敦子



鎮守の森の
照葉樹林

ミツデウラボシ

切通し

ケイワタバコ

なんじゃもんじゃの木

編集後記

春の訪れとともに、緑光第76号をお届けします。
一昨年より続くコロナ禍で多人数で集まることができず、当協議会の活動も人数制限やオンライン利用あるいは、行事の縮小等を余儀なくされました。そうした状況下での運営状況をこの冊子で知っていただければ幸いです。
来年度も十分な注意と工夫を重ねて活動を継続し、緑化を通じた街の希望と子供の笑顔の一助になればと思います。
また来年度は、インターネットでの報告も充実し、ホームページを行事毎に更新する予定です。年間を通じてご期待ください。
(日本精工株式会社藤沢工場 平澤 記)

発行者: 藤沢市企業等環境緑化推進協議会

編集委員: 日本精工(株)藤沢工場、(株)ヤクルト本社湘南化粧品工場、

アズビル(株)藤沢テクノセンター、(株)荏原製作所藤沢事業所、

プレス工業(株)藤沢工場、(株)神戸製鋼所藤沢事業所

事務局: 〒251-8601 藤沢市朝日町1-1 藤沢市役所みどり保全課

TEL: 0466-25-1111(内線4352) FAX: 0466-50-8421

E-mail: fj1-midori@city.fujisawa.lg.jp

ホームページ: <http://www.city.fujisawa.kanagawa.jp/midori/machizukuri/kankyo/shizenhogo/kigyoryokuka.html>

緑光

検索